令和８年度 第２回 宮若市環境審議会 議事録

日時	令和８年 10 月 21 日（水） 10 時 30 分 ～
場所	宮若市役所 本庁舎２階 202 会議室
出席委員	依田会長、福原副会長、大島委員、大村委員、小野委員、金尾委員、 神谷委員、真角委員、菅野委員、塩川委員（計 10 名）
事務局	環境保全課長関岡、課長補佐豊福、瀬戸、平原
公開・非公開の別	公開（傍聴者：0 名）
議事	（1）宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案の修正について （2）宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の答申について （3）第２次宮若市環境基本計画に係る進捗状況の報告（令和７年度分）

議事経過（発言詳細）。

■ 開会のことば

■ 市長あいさつ

―市長による挨拶―

■ 会長あいさつ

―会長による挨拶―

■ 議題（1）宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案の修正について

事務局より、宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案の修正について説明を行った。

修正点：地球温暖化対策実行計画（区域施策編）P43 コラム「クーリングシェルター」を追加。

【議長】

ありがとうございました。ただいま（1）宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案の修正について説明をしていただきました。

ただいまの説明に対して質疑、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

【議長】

１点軽微な修正ですが、資料４８ページにある委員名簿について、学部長から教授に変更していただきたい。委員名簿No.13委員が今年度から学部長となりましたので、修正をお願いします。

他によろしいでしょうか？それではないようですので採決を行いたいと思います。

協議事項を（1）について承認することに賛成の方は挙手をお願いしたいと思います。

【各委員】

（全員挙手）

【議長】

ありがとうございます。全員賛成ということで承認されました。

続きまして（2）宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の答申について、事務局から説明をお願いします。

■ 議題（2）宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の答申について

事務局より宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の答申について説明を行った。

―依田会長より柴田市長へ答申書が手交される―

―他の公務のため、市長退室―

【議長】

ありがとうございました。それでは協議事項（3）に移りたいと思います。

第２次宮若市環境基本計画に係る進捗状況の報告（令和７年度分）を事務局より説明をお願いいたします。

■議題（３）第２次宮若市環境基本計画に係る進捗状況の報告（令和７年度分）

事務局より第２次宮若市環境基本計画に係る進捗状況の報告（令和７年度分）について説明を行った。

【議長】

ありがとうございました。ただいまの説明に対して、ご質問や意見があればお願いします。

【委員】

12 ページの環境保全活動の参加者数は安定してきていますが、年齢層の偏り等はありますか。

【事務局】

年齢の幅は把握していませんが、ゴミゼロ河川清掃や環境クリーン作戦、市内一斉清掃については、自治会の方に参加依頼をしているので、各自治会の方で把握していると思います。

【委員】

参加者は自治会の皆さんに参加してもらっているので安定しているが、自治会自体が高齢化しているため、そこが一番の問題となっています。若い人に対しても案内等もおこなっていますが、メリットを感じてもらえず、なかなか参加者を集めれない現状もあるところです。

【委員】

若い世代への環境保全活動の参加促進をしてもらいたいと思います。自分の住んでいる町を守っていくということ自体がメリットではないかと思うので、ぜひ積極的な参加を促していただきたい。

【議長】

12 ページに記載されているとおり、すでに目標値を達成している項目がありますが、今後目標の見直しを行う予定はありますか。

【事務局】

宮若市環境基本計画の更新時期に修正しようと考えております。

【議長】

10 ページの温室効果ガスの排出量について、産業部門の温室効果ガスが増えているとのことでしたが、自治体排出量カルテの算出方法自体が、製造品出荷額等を乗じて推計するものであり、宮若の企業が脱炭素に向けて実施した取り組みが反映されていないため、一概に排出量が増えたということでなく、実際の排出量とは違うところがあると思います。誤解を生まないためにも、宮若市の企業が実施している脱炭素の取り組みをコメントとして記入したらいいのではと感じましたので、ご検討ください。

もう一点、14 ページの市の事業で温室効果ガスが増えている理由が九州電力の排出係数が増加したことが挙げられていましたが、再エネを主とした電力会社への切り替えは検討していますか。

【事務局】

令和７年度に太陽光を導入した緑水園と桜華苑は、これまで九州電力と電力契約しておりましたが、(株)北九州パワーとの再エネ 100％電力契約に切り替えました。今後も条件等を確認し、他の施設でも導入できるところがあれば検討したいと考えております。

【事務局】

どうしても再エネ 100％電力契約に切り替えると、電気代が上がるため、条件等を確認しながら他施設でも検討をしていきたいと思っております。

【議長】

今のエネルギーの情勢を考慮すると、再エネ 100％由来電力の供給条件が、今後もそれを継続していけるのかどうか不透明な部分もあるので難しいところではあると思います。

他に意見等はございませんか。

【委員】

1 ページ目の複数の施策にまたがって取り組む重点項目について、森林保全の推進や保全がワンヘルスの前提にあるわけですから、Ⅰワンヘルスの促進とⅡみどりの施策の推進の順番を入れ替えたほうがいいのではないでしょうか。

【議長】

今回の報告書については、現在の基本計画に基づいたものになるため、本文章の変更は基本計画の見直しの時期に合わせて検討するということになると思います。

【事務局】

本日ご意見賜ったことは控えておいて、計画の更新時期にて修正を考えたいと思います。

【委員】

宮若市の方で、チャンチンモドキ（植物）を千石で見つけ、現在の北限であるという論文を出している人がいます。宮若市の方でもそのような環境調査を行う方に焦点を当てることによって、環境問題についての意識や興味が向上する可能性があると思います。

【議長】

この件に関しては担当部署で扱っていただければと思います。

【議長】

他によろしいでしょうか？それでは報告書については以上となります。

本日用意されております議題については以上となります。進行事務局の方にお返しいたします。

■閉会

【事務局】

皆様より貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。

今回策定いたしました宮若市の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）をもとに、今後さらに本市の環境行政を推進していきたいと思いますので、これからもどうぞご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

それではこれをもちまして、令和８年度第２回宮若市環境審議会を終了させていただきたいとおもいます。本日はどうもありがとうございました。